

授業科目

心理学I

| | | | | |
|----------------|------|----|-------|----|
| 担当教員名 松本 京介 | 対象学年 | 1 | 対象学科 | 社会 |
| | 開講時期 | 前期 | 必修・選択 | 必修 |
| | 単位数 | 2 | 時間数 | 30 |

ディプロマポリシーとの関連性

| 知識・理解 | 思考・判断 | 関心・意欲 | 態度 | 技能・表現 |
|-------|-------|-------|----|-------|
| ◎ | ○ | ○ | ◎ | ○ |

授業の概要

心理学 (psychology, psyche+logos) とは、語源的に言えば、こころや精神と呼ばれているものの科学であり、こころのはたらきの論理を明らかにしようとする学問である。

本授業では、人が、この世界をどのように感覚・知覚し、認知していくのか、そのときにどのような感情が生じ、どのように思考するのか、その原動力となる欲求や動機づけはどのようなものか、また、人はいかにして学習・記憶していくのか、さらに、人は集団になるとどのようなこころの状態になるのか、といったさまざまなこころのしくみやはたらきについて心理学の各論を通して学んでいく。

また、さまざまなストレスに対して、こころはどのように適応しようとするのか、適応しきれない場合、こころはどのように不調をきたしていくのか、さらに、こころの不調や病いに対して、どのような治療や支援があるのかについても必要な知識を身につけていく。

授業の目的

人間とは何か、こころとはどのようなものかといった問題を理解するために必要な心理学の基礎知識を身につける。

学習目標

1. 心理学の歴史と研究方法について説明できる
2. こころのしくみの理解を含む心理学の各論について要点を説明できる
3. こころのしくみの理解を含む心理学の各論について複数の学問的視座を対比することができる
4. 心理的支援や心理療法に関する複数の学問的視座を対比することができる

授業計画

| 回数 | 授業計画・学習の主題 | 学習方法・学習課題・備考 |
|----|--------------------------------|---|
| 1 | 心理学の歴史と研究方法 | 講義 (参考書『心理学とは』参照) |
| 2 | 感覚・知覚 | 講義・実習 (参考書「感覚」「知覚」参照) |
| 3 | 認知 | 講義 (参考書「認知」参照) |
| 4 | 欲求・動機づけ・感情・思考 | 講義 (参考書『欲求と動機づけ』『感情』『思考』参照) |
| 5 | 防衛 (適応) 機制 | 講義 (参考書『適応とストレス』『葛藤と欲求不満』参照) |
| 6 | 心理的支援の方法 1 精神分析学のアプローチ | 講義 (参考書『脳と心』『面接・見立て・心理療法』参照) |
| 7 | 心理的支援の方法 2 分析心理学、カウンセリングのアプローチ | 講義 (参考書『面接・見立て・心理療法』『対人交流とコミュニケーション』参照) |
| 8 | 学習 | 講義・ビデオ (参考書「学習」参照) |
| 9 | こころの病いと心理療法 | 講義 (参考書「心理療法」参照) |
| 10 | 心理療法の実際 1 精神分析的な心理療法 | 講義 (参考書「心理療法」参照) |
| 11 | 心理療法の実際 2 行動療法 | 講義 (参考書「心理療法」参照) |
| 12 | 心理療法の実際 3 来談者中心療法 | 講義 (参考書「心理療法」参照) |
| 13 | 記憶 | 講義・実習 (参考書「記憶」参照) |
| 14 | 個人と集団 | 講義 (参考書『人間環境と集団』参照) |
| 15 | まとめ | 講義 |

使用図書

| 使用図書 | 書名 | 著者名 | 発行所 | 発行年 | 価格 | その他 |
|--------|------------------|----------------|------|-------|----------|-----|
| 教科書 | イラストレート心理学入門 第2版 | 齊藤勇 | 誠信書房 | 2010年 | 1,500円+税 | |
| 参考書 | 心理学理論と心理的支援 最新版 | 社会福祉士養成講座編集委員会 | 中央法規 | | 2,200円+税 | |
| その他の資料 | 適宜プリントを配布する。 | | | | | |

評価方法

毎回のコメントシート (15%)
小レポート (5%)
期末試験(80%)

履修上の留意点

多岐に渡る心理学の分野を紹介するため、週によって内容が変化する。十分に予習・復習をすること。また、心理学に関する総合的な理解を得るためにも、欠席がないようにしてもらいたい。

オフィスアワー・連絡先

前期：水曜 2限、昼休み
後期：火曜 2限、昼休み
E310 (研究棟)
matumoto@nuhw.ac.jp